

2022年度 “木棉杯” 翻译大赛日语原文

モデリングとは、モデルを観察することによる、認知、感情、行動の変化のことをいう。現実的もしくは象徴的な人物やキャラクターがモデルとなり、観察者は、その行動や言語表現、非言語表現に注意を向けることで、モデリングの手がかりを得ることになる。バンデューラによれば、モデリングにはいくつかの働きが見られる。新しい行動を獲得すること「観察学習」、行動の抑制を強めたり弱めたりすること（制止／脱制止）、すでに学習した行動の遂行が促されること「反応促進」の三つである。

「反応促進」が生じるのは、モデルとなる活動が社会的な誘発作用を持っているような場合である。例えば、地位の高いモデルがしている活動は、承認を得ることが期待できるので、実行されやすくなるのである。「制止／脱制止」とは、学習された行動の遂行を強く抑えたり、その傾向を弱めたりすることである。脅威を伴う活動や禁止されている活動でも、否定的な結果とならないことをモデルが実演して見せれば、それを見る者は実行できるようになるのである。逆に、罰を受けているところを見れば、そういった反応は見られなくなるだろう。

モデリングはを行う以前には、動機付けが強く促されても一切生じなかった行動が、「観察学習」が成立すると、新たに生起するようになる。モデリングによる観察学習は、注意、保持、運動再生、動機付けの四つの過程で構成される。観察者が環境上の出来事に注

意を向けることが、それらを知覚するために必要になる。リハーサルをしたり、すでに記憶にある知識と新しい情報とを結びつけたりして、符号化や変換を行うことによって、モデルの情報を記憶に貯蔵していくことを保持という。知識が記憶に貯蔵されていくのは、最終的には、命題という言語形式（情報の単位）のみであるという考えと、イメージという形もありうるとする考えと、研究上で議論が分かれるところである。だが、イメージの形をとった表象的知識が学習を支えていることを明らかにしている研究がある。モデルが示した出来事が視覚的、象徴的概念となり、それらを行動に移す過程が運動再生である。観察学習した行動を実行するためには、動機付けが必要になってくる。モデルが報酬を得ているのを見たり、学習したことの重要性を認識したりすることで、観察者は動機づけを高めるであろう。